

京阪神東雲

鳥取県立鳥取東高等学校同窓会

東雲会京阪神支部会報●第8号

<http://www.asahi-net.or.jp/~hf3s-okd/higashi/>

連絡先 岡田俊一(12回)

神戸市垂水区神和台 2-2-9

神戸コンチェルト クルーズで 今年はお会いしましょう

本年度総会は、11月26日(土)に
洋上で行います。

午後2時から午後5時まで2回分の
クルーズで豪華な中華料理を頂きます。
昼の海、夕日、夜景と楽しめます。

会場のホームページは、

<http://www.kobeconcerto.com>

当日は京阪神支部の会員は8,000円。その他の地域
の方は支部会費1000円を除いた7,000円で参加で
きます。この機会に関西在住の同窓生と同じテー
ブルを囲んで豪華なクルージングと歓談を楽しま
れませんか。参加申し込みは、本年度当番幹事の増田
までご連絡ください。



(連絡先: 自宅 06-6336-8120 携帯 090-4645-2140

メール bpabq800@tcct.zaq.ne.jp) 同期のテーブル
をご用意します。10月31日までにご連絡を下さい。
なお、総会情報は当会のホームページで特設掲示板
に最新情報を用意します。題字横のURLを打ち込ん
でいただくか、googleなどで「京阪神東雲の窓」で
検索していただくとヒットします。総会当日の画像
は当ホームページの特設アルバムへアップ。パスワ
ードは当日お知らせの予定です。(増田・山脈22回)

総会・近況葉書・ホームページで交流を

高校時代へタイムスリップ

平成16年度当番幹事を終えて

松岡 幸雄(山脈21回)

同窓の皆様、昨年の同窓会の当番幹事をさせて
いただきました山脈第21回の松岡でございます。
皆様をご存知のとおり、総会開催の当番幹事は毎
年、後輩へ引き継ぐ形式で実施され、昨年度は11
月20日(土)に大阪リバーサイドホテルで107
名の出席者で開催されました。小生も当番幹事を
仰せつかるまでは本会の存在は知ってはおりま

したが、まさか自分が幹事をやるとは夢にも思っ
ておりませんでした。会長のお話によるとこの幹
事引継ぎは毎年人選でご苦労されているとのこ
とで母校の先生を巻き込んでの一大イベントと
のことです。私の場合、鳥取の友人が東高の先生
より誰か京阪神在住者で幹事の適任者はいない
かと聞かれ、心当たりがあると返事をしたのが話
の始まりであります。その友人より推薦したとの
連絡があった後に、会長より自宅へ本会の存続の
意義を説かれ当番幹事を引き受けてもらいたい
との要請がありました。何人かに声かけられてい
るとのことで脇役として協力させていただきま
すのをご返事をして、12月の総会に参加いたしま
した。そのときに同期で参加していたのは私を含
めて2名であり、その方が代表幹事をされると思
っておりました。

後日、会長のお誘いで前任の山脈 20 回の中原さんと次年度の当番幹事が顔合せをするということで大阪に向きました。打ち合わせの場で「もう1名の方は？」とお聞きすると、「事情があって彼は参加できないので君がやってくれ」と言われ、これは大変なことになったと思った次第です。当然、その日の酒が苦く感じたのは言うまでもありません。その日から脇役で協力するというスタンスを切り替えてまさに主体的に動かなければならない状況に追い込まれたわけです。まずは、名簿をみながら高校時代に知っている方をリストアップして電話をして協力をお願いいたしました。皆さんより「そりゃやらないあかん」、「そろそろ私たちの番かなと思っていました」等の返事で賛同してもらい、2月14日に開催された平成15年度の第2回拡大幹事会で山脈20回幹事の方より引継ぎを受け、準備活動に入りました。

諸先輩が長きに亘り継続されてきた総会なので、継承される事項の把握が急務でありました。幸い、小生を含め何名かの幹事が、前年度の総会に出席していたので、不明な点を中原さんに何度も電話をさせていただき情報収集して準備プログラムを作成することができました。主要な課題としては、会場の確保、アトラクション、本部事務局との連絡、来賓各種案内状・依頼書の作成発送、会計、総会当日の当番分担および次年度幹事の人選などがあり、タイムスケジュールに沿って実施していかななくてはなりません。限られた回数の幹事会で検討しながら進捗管理していくわけですが、アクシデントは付きもので、平成16年度の第1回拡大幹事会で最初に決定した会場が収容人員100名までが限度でリスク回避のため変更する事態となりました。先輩諸氏のご意見を拝聴しながら最終的に本総会が何度か開催されている大阪リバーサイドホテルに決定いたしました。総会までに6回の幹事会を開催して、あれや



これやと話し合いながら何とか準備を終え、総会当日を迎え、多少のアクシデントとトラブルはあったものの、総会、懇親会を無事終えることができました。

5月の連休に鳥取に帰省した折に同窓の橋浦氏に、応援参加をお願いしたところ、快諾していただき、総会当日には鳥取より同窓16名(山脈21回:15名、山脈22回:1名)の参加いただき、会を盛りあげていただきました。この場を借りて橋浦氏をはじめとする皆様にお礼申し上げます。

今振り返ると、大変でしたが、高校時代にタイムスリップした感じで幹事会の後に同窓と楽しい時間を過ごすことができ良い思い出となりました。京阪神東雲会総会は今年度で第55回を迎え、諸先輩が長きに渡り努力されてきたイベントであり、今後も本会が後輩に継承され、益々、盛況になることを祈念いたしております。

(画像は総会風景・2004/11/20撮影)

* * *

第7号の訂正

3 ページ掲載の「戦地で聞いた鳥取弁」の中で筆者の松田さんから「文中岩瀬さんとあるのは山瀬さんの間違いなので訂正します」とお手紙を頂きました。

返信葉書(平成16年度)の 近況報告葉書から

年々近況報告が充実しています。友人の消息がわかれば、今晚あたり電話やメールはいかがでしょうか。昨年の総会で各テーブルで披露されたものから再録です。

柏葉 大正5年に生まれても誠に元気なり。此れなら90歳を越えても不思議ではないと思ふ。但し命だけはわからない。何時ころりといくか？でも今になってほんとうにたのしい。毎日散歩。午後は歩くことに(7回/村田美雄)●特別に悪いところはないのですが長い会合に出席する自信がないので失礼します(10回/松尾幸人)●私達の時代は人生50年どころか、人生20年と言った凄まじい時代でした。こうした平和な時代を迎えまして京の風物詩を楽しむなんて夢のようです。皆様もどうかよき時代を過ごされることを心からお祈りします(16回/香川正澄)●海外旅行中にあたりますので欠席させていただきます。近畿柏葉18回は集まる人数も減って来ましたので残念ながら今春を以って幕を閉じることになりました(18回/美田義雄)●健康に常に留意して何とかやっています。役員の方々に心より感謝致しております(18回/山根昭一郎)●年齢相応に元気に暮らしております。会社社友会常任理事、海軍兵学校近畿支部の役員、老人会のお世話など忙しく過ごしております(18回/佐々尾昭)●会報ありがとうございます。あの阪神淡路大震災から早や10年目を迎えようとしています。命ある限りありふれた日々を生きることの大切さを感じます(18回/渡邊久也)●会報ありがとうございます。柏葉5~6回の大先輩今なおかくしゃくとしておられるメッセージを拝見、心強く思いました。同期の方のメッセージにも接しましたが残念ながら顔を思い出せません。盛会を願っています(22回/加嶋久)●現役を退いて毎日が日曜日のような気分で元気に過ごしています。京阪神東雲会総会の頃になると第1回米子鳥取間駅伝競走で我々二中チームが断トツで優勝した事を思い

出します。私もメンバーとして下市・赤碕間7kmを区間賞で走破しました。当時はランニングシューズもない時代で足袋に裏地をぬいつけて走ったものです。後輩も優勝めざして頑張ってください(22回/藤田忠雄)●当日帰鳥する予定であり残念ですが欠席します。元気に暮らしており近年は後輩の育成(建築設計業務)に務めています(22回/蓮仏亨)●会社勤務は縮小し現在ゆっくりしています(23回/山本省二)●毎回のご連絡有難うございます。敗戦後の昭和20年12月より同23年4月まで在籍していたもので友人も少なく足も遠のいています(24回/柳澤宏美)

山脈 年と共に人間ドックでの指摘箇所が増えてますが日常生活には現在支障なく唯一の楽しみのコーラスの練習に通ってます(1回/吉見敏宏)●昨年、宿病を根治し今年は元気になって信州の山の生活を楽しんでいます(2回/金谷允清)●家族全員健康に恵まれ好きな手芸や園芸散歩を楽しんでいます(2回/市谷成子)●この年になっても歩こう会の運営やレクリエーション指導の依頼が重なり嬉しい悲鳴をあげています。当日

は地元で火起し体験があり残念ですが欠席です(3回/井上欣宏)●大学の友達の別荘に9/16, 17, 18三日間行ってきました。ゴルフしながら歩くコースは秋そのものでした(3回/山根恒男)●70歳、健康です。一日が何事もなく暮らせる毎日です。皆様のご活躍を祈ります(3回/山崎圭子)●幹事の皆さんのご苦勞に感謝しております。心身共に壮健。“日々是好日”の思いで過ごしております(3回/田中史朗)●す

っかり秋らしくなりましたが今年は3回生同窓会の幹事として11月3日の同窓会に向けて頑張っています。今年で28回を迎えますが東京・埼玉・神奈川・広島・三重と各地より参加者もあり31名を数える盛会となる模様です(3回/岡田坦久)●残念ながら他用あり出席できません。当方年齢なりに元気よくサラリーマンを続けています(4回/小路一完)●地域自治会の研修旅行で欠席させていただきます(4回/中尾英昭)●この先当分は鬼籍入りは御免蒙り、やり残しの仕事をていねいにこなして行きたいと願ってジム通いを始めました。05年は鳥取大丸で個展の予定です(4回/



中村美登)●今年古希を迎えました。本年末で現役を引退し非常勤相談役となります(4回/山根清巳)●10月5日山脈5回生同級会を羽合温泉望湖楼で開催します。卒業後50年という事です(5回/森本珠実)●今年の山六関西は西宮の大谷記念美術館で目の保養をし隣接のギャラリーを貸切生演奏を背景にお酒と料理を満喫しそして気のおけない昔の連中の鳥取弁が華となりました。来年は名古屋で全体の同窓会です。今から楽しみです(6回/山本順三郎)●来年は卒業50周年を迎えると思えば感無量です。近年は2,3年に一度開催される山六会を楽しみにしています。母校鳥取東高を懐かしく誇りに思っています(6回/長谷川圭子)●主人の実家が東高の近くで帰省のたび母校の辺りを散歩し在学当事を懐かしんでいます。今後鳥取か大阪に残るかまだ決まらずたびたび往復しています(6回/稲増崇子)●私は現在「地域安全推進委員」と「交通安全指導員」の公的ボランティア活動を行い結構多忙な毎日を送っております。「話し合い・連れ合い・触れ合い・助け合い」の精神で自分の持てる力を社会へ還元していくつもりです。(6回/藤原日出男)●旅は好きでいろんなところに行きますがやはり生まれ育った鳥取が大好きです。一度ゆっくり歩いてみたいと思っています(6回/宇野良子)●西式健康法実践のおかげで健康至極(7回/田中康夫)●本年度完全退職。暇があるようで結構忙しいものです(7回/元村昌公)●第二の職場を退職して早や3年。完全な年金生活を送っています。近くのフィットネスクラブで水中散歩を楽しんでいます(7回/川島吉夫)●♪酒におぼれてよ～♪のわたしですが毎日約1時間標高差100mほどの散歩と園芸に、月1回のハイキング(世話役)映画、海釣りにと楽しんでおります(7回/丹松克男)●昨年とまったく同じような生活が続いております。歯や腰に故障が生じ年齢を感じるようになりました(7回/竹内正志)●幹事の皆さんほんとうにごくろうさまです。退職して5年過ぎました。最近では主人と月数回の温泉巡りのドライブ旅行を楽しんでおります。今が一番気楽かと思っています。西国三十三ヶ所巡りの旅を予定していて欠席します。すいません(8回/下村美津江)●ガーデニングと孫の世話をしながら楽しく過ごしています(8回/山崎萬喜子)●時間講師として授業だけ受け持っています。今年度は毎日週16時間で大変忙しくしかし楽しく勤めています。卓球も週2回やっています(8回/友寄温子)●なかなか現役引退できずに相変わらず元気で頑張っております。2～3年後にはゆっくりしたいと考えております(9回/大西幹夫)●現在週に2～3回水泳に通っています。近くコーラスも始めたいと思っ

ています(9回/垣本信夫)●『60の手習い』で始めたアオリイカ釣りにはまっています。イカ様はほんとうに「つれないお方」ですなあ!!(9回/大呂輝夫)●会報楽しく読ませて頂いております。11月20日地域で食育ボランティアの予定が入っており今回も欠席ですがいつか出席させていただくのを楽しみにしております(9回/森本靖子)●大病から復帰。仕事も変わって毎日充実した生活を送っております。少年剣道の指導とスイミングも続けております。元気一杯です(10回/博田譲二)●こちらでも生活も残り1年と少々となりました。65歳2回目の定年後は鳥取へ帰ります(10回/西村律夫)●日々是平々凡々。サイクリングで奈良公園、平城旧跡をまわっています(10回/岩崎素彦)●退職してから3年過ぎました。減量と体調維持に四苦八苦しながら時折趣味の写真撮影を楽しんでいます(10回/網谷正浩)●お蔭様で元気に過ごしています。健康管理の為武庫川堤防を散歩しております(10回/滝和男)●結婚して40年になり子供達が旅行に連れて行くと計画してくれました。孫達も一緒。楽しみにしております。日程が重なり欠席です(10回/西脇紀恵)●老母の介護のために毎月10日ほど帰鳥しています。今は走る、書くことが日課になっています。10月に「医療費の審査～知られざるその現実」(清風堂書店)を出版しました。関心があったら読んでください(10回/橋本巖)●今年3月は氷点下30度のアラスカ北極圏に行き5夜連続の大ブレイクのオーロラに満足。この11月は標高3000mヒマラヤ・アンナプルナ周辺の山をトレッキング中(10回/西尾康弘)●退職しゴルフ三昧の生活をしていましたがこの4月から子会社から依頼されて全国260のビルのテナント誘致の営業活動をしております(11回/鎌谷勉)●近況報告楽しくなつかしく読ませていただきました。私も市の高齢者大学に通いちぎり絵パソコン等クラブで楽しんでいます(11回/大倉登志恵)●婦人会の役員と市の体育指導員を掛けもちで忙しくしております(11回/浅田宏恵)●5月に体調をくずし入院しましたがようやく健康を取りもどしました。プールに通いながら老化防止に励んでいる今日この頃です(11回/筒井節子)●10年前から歩行に少し難儀をしています但定年後もパートで看護婦、助産婦として外来で楽しく働けることを幸せに感じている今日この頃です(11回/平林和子)●9/20北海道大雪山・富良野、また続けて熱海・伊豆・箱根と1週間連続で旅を続けました。自然の広大さに感激して帰郷致しました。満足しています(12回/森田敏恵)●今年は孫の誕生、私の入院などあわただしい1年でした。元気になりました(12回/田島多江子)●望むは数多くあれど能く

ば生きるばかりを善しと為さむ(12 回/山根豊美) ●定年後も忙しく仕事をしています。健康維持の為に働く場がある事に感謝しながら頑張っています(13回/天野史郎) ●昨年11月で定年になりました。今年は嘱託で仕事をしております(13 回/小林昭彦) ●昭和38年卒業と同時に現在実家のある大阪の豊中市へ引越しました。総会の案内をいただくこの時期、鳥取がほんとうに懐かしくなります。おとずれることもあまりありませんがいつまでも私の古里です(14 回/宮垣道子) ●特別暑い夏ですがなんとか元気でやっています。帰省したときは倉恒先生に会って元気な所を頂いて帰りました(14 回/宮中俊夫) ●還暦を迎え生活設計を逆算して考えている自分に気がつきます(14 回/弓削小波) ●12月に3人目の孫が生まれる予定。自分と夫と子供と孫のためにとにかく元気でいることが最重要課題と、86歳と93歳の私と夫の母親を現在見て思う日々です。度々訪れてくれる子供達にそして小さな旅行に楽しみを見つけています(14 回/曾根崎悦子) ●元気でいます。月に2回ですが芦屋保健センターで歯科衛生士の仕事をしています。子供が好きなので自分の子供のような年齢の子供たちに囲まれて仕事をしています(15 回/高本真知子) ●4人目の孫ができました。仕事、詩吟、演劇(華岡雪舟の妻)等いろいろと忙しく過ごしています(15 回/金田玲子) ●10坪の家庭菜園に奮闘中。昨年は冷夏。今年は酷暑と野菜達もなかなか大変な様子。無農薬・有機栽培はまた格別の味です(16 回/桑原かつ江) ●標高300メートルの高原で農業を営んで自然野菜を食しています。今コスモス、ススキがとてもきれいですヨ(18回/松岡明枝) ●山脈21回の皆様お世話になります。関西に来て34年になります。やはり鳥取はいいですね。母の介護で月1回は帰鳥しております。鳥取弁になるのが不思議です(18 回/大原美智子) ●そろそろ夫婦二人の生活を考えねばとおもうこの頃です。健康第一！元気で頑張りたいものです(19 回/横川ひとみ) ●先日は伯母がなくなり父方の兄弟姉妹全員がいなくなりました。年齢的には当然のことですが我々の前をいなくなってしまった事の重さをまだ実感できません(19 回/小谷利夫) ●盆暮れに帰省するものの年々定年が近づくに、ただただ故郷に定住したい一心です。TVで故郷を紹介する番組を見ては気持ちを紛らわせています(20 回/井上繁範) ●ねたきりの年寄りをかかえまたヘルパーの仕事で5人の利用者さんを抱え大変な毎日です。でも人の為に動ける事ができて感謝しています(20 回/水口由美) ●最近、手話と英会話を習い始めました。私も50歳を過ぎてこれからどう生き生きと過ごそうかとワクワク思案中ですよ(23

回/山口順子) ●運動不足解消のためスイミングを始めました。というか週1回のんびりとプールでウォーキングして合間に泳いでいるだけです。そのうちバタフライをかつこよく泳ぎたいです(28 回/宿院真由美) ●娘二人、大学・高校のダブル受験を控え何となく落ち着かない毎日です。子育てが一段落すれば一度、東雲会へお訪ねしたいと思っています(30 回/大西紀子) ●東高の歴史を知りただただ驚くばかりです。神戸に来てまもなく10年、神戸大震災の前年に来て以来神戸に住んでいますがただ今4歳、2歳の子育てに奮闘中です(36 回/嵯峨陽子) ●二人の育児で毎日大変です(38 回/巽いづみ) ●10月出産予定のために今回は欠席させていただきます(44 回/高橋紫乃)

会費(寄付)ご協力をお願い

本年度も京阪神東雲会運営費として会員の皆様に年次会費(寄付)一口1,000円の出捐をお願いしております。総会に参加される方からは、当日参加費用に含めて会費を頂きます。 昨年は当日参加の方々を含めて327名の方々からご協力を得ました。厚く御礼申し上げます。 因みに本年6月現在の会費残高が821,603円となっております。会費(寄付)振込先は次の通りです。

(会長 上林武夫・会計幹事 中原修市)

郵便振込「口座番号 00940-2-133540

加入者名 京阪神東雲会」

平成16年度の会計報告

平成16年度 総会関係会計 単位 円

費目	収入	支出	残高
前年度繰越金	55,600		
総会会費	749,000		
雑収入	21,180		
寄付金会計より	50,000		
総会費		684,800	
会議費		51,497	
通信費		30,549	
その他		42,187	
会計	875,780	809,033	66,747

寄付金会計 単位 円

費目	収入	支出	残高
前年度繰越金	755,591		
16年度寄付金	369,180		
会報編集通信費		10,000	
総会案内文作成送		228,168	
その他		65,000	
合計	1,124,771	303,168	821,603

丹波紀行 「老後」を「朗後」に

その2 自然の恵み

鈴木 亮介(山脈11回)

21世紀が来た。今年からここ瑞穂町で楽しもう。そう思い、3月にはジャガイモを植え4月下旬には夏野菜を植え終わった。余った土地に小玉のスイカを二本植えてみた。盆のころには5〜6個のスイカができた。小玉で冷蔵庫にも入れやすく、子供達もよく食べてくれた。

ある日、妻が1本の小豆の茎を見つけた。

「こんな所に小豆が生えているわ」。小鳥が種を運んできたのであろう。そう思っていると秋には実り、一握りの大豆が採れた。これを翌年蒔いて収穫し、今では毎年小豆ご飯を食べている。

9月になった。私はいつものようにガッツガッツとやっていると、「父さんこれ」といって妻が差し出したものは丹波栗だった。隣の雑木林に沢山落ちていているという。よく見ると大きな栗の木があった。栗拾いなんて何年ぶりだろう。回りをよく見るとイバラの木の向こうに沢山野苺が赤い実を覗かせていた。手を伸ばして採り手の平一杯程食べられた。これも懐かしい味だった。

2001年10月4日で定年退職となり、12月末までに28回も通った。11月下旬には4月に植えた山芋を恐る恐る掘ってみた。おう！あるある。先が太くなって曲がった芋がたくさん出てきた。

02年正月にはここへ来て雑煮を食べた。鳥取風で。夏野菜を植え終わり一息ついた6月、村の人が来て、井戸を掘らないかと言いだした。この地下には水路があっていい水が出るという。色々話を聞いているうちに、嘘でもなさそうだと思うようになり、学生時代の友人がコンサルタントを経営していて、地層や地下水の調査もできるというので調べてもらった。この土地は鼓山のおもとにあり、回り一帯は岩盤でここだけ岩が窪み、土砂が堆積され高屋川の方へ続いている。水は出るかも知れないーという結論だった。

来年は世界水フォーラムが日本で開かれることが決まっており、水について話題が多い時期だった。よし、掘ってみよう。近くの井戸掘り業者に頼み、ボーリングをした。7月1日から掘り始め3日間で18mの土砂を掘った。地下水は岩盤に入ってから勝負らしい？

4日目、24m位は掘れたが水の出はよくなかった。だんだん不安になってきた。ほんとに出るのかなあ。5日目、11時頃25mで水が出た。よし、出た出た。業者も喜んだ。しかし、おやじの指導により31mまで掘り下げ給水口は30mで止めた。

家庭にある水道の蛇口を一杯に開けて出てくるような水量が自分の土地のわずか30m下から上がってくるのです。水量は少し弱くしたけど、一ヶ月間出し続けた。この土地は鳥取東高にあったようなプールが何個か並んでいるのだろーと思いたくなるくらいです。

園部町の保健所で水質検査をした所、11項目については合格をした。しかし、微生物研究所の30項目検査ではマンガン含有量だけが基準値の20倍近くもあり、飲用には不適格となった。他の項目はすべてOKなのに。マンガンが人体に及ぼす害は特に記載はなく、着色の障害とだけあった。多分白い布を染めるときに障害があるのだろー。飲み水には使っていないが味は非常に良く水温

は常に15℃です。こういうのを地下水と言うのだそう。

03年春、近くの地形や景色にも馴染みワラビやヨモギそしてタラの芽なども摘めるようになった。そして驚いたことに瑞穂町は椎茸の産地だということです。さっそく菌を植えてある木を買ったところ、1年後、立派な椎茸が沢山出

てきた。とてもおいしい。

9月15日は瑞穂町に泊まって中秋の名月を観た。夕方までは曇っていたが9時頃からお月さんが顔を出してきた。こんなまんまるのお月さんを観たのは久しぶりだった。小屋の電気を消してみた。そうしたらまわりが明るくなり、木や草がはっきり見えるようになったのです。なんとロマンチックなことだ。

老後を朗後にするために、箕面市のマンションでは受けることのできない自然の恵みを感じているところです。(画像はボーリングの模様)



古代東高 思い出シリーズ

高原教育

第八回

倉恒 貞夫

(本部同窓会副会長・山脈3回)



私ごとですが、私が東高の生徒であったのは昭和24年の東高発足時、1年生として入学したので、同窓会の1回生、2回生の方々は、先輩の3年生、2年生として、4回生、5回生の方々は私が3年生になったときの2年生、1年生で、互いによく知っているわけです。

大学を卒業して、東高の先生として昭和31年に勤務した時は、山脈10回生の皆さんの入学と一緒に東高に入学したわけで、当時の2年生は9回生、3年生は8回生です。これから昭和37年まで、東高に居ましたから、10、11、12、13、14回生(特に12、14回生は担任として)の方の授業に出ました。15回生は1・2年、16回生は1年の時だけ授業に出ました。

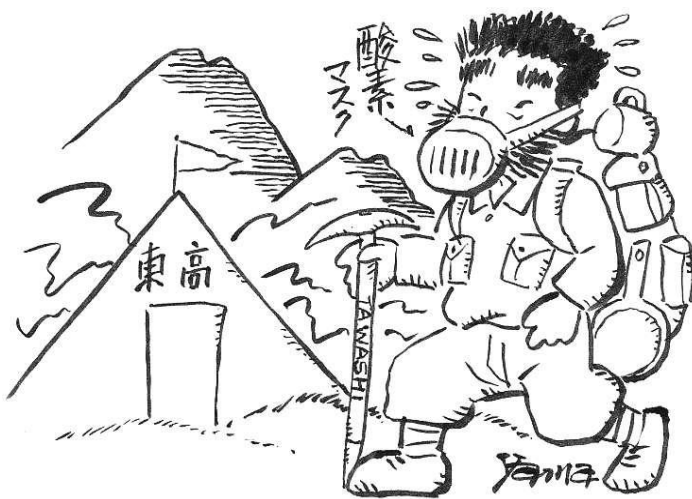
昭和46年に再び東高に帰ってきて2年生の担任になりました。この人たちは山脈24回生ですので、山脈17～21回生はよく知りませんが、昭和46年以来、平成6年退職までずっと東高に勤務し退職後も時間講師で昨年平成16年3月まで途中ちょっと抜けた時がありますがほとんど授業に出ていました。(現在は、華道部の講師のみに出ています。)

昭和46年に東高に帰ってみますと、以前全校で行っていた臨海学校は1年生のみとなり、2年生は高原教育(大山、2泊3日)となっていました。これは修学旅行の代わりのようです。

修学旅行は昭和25年の富士登山や、関西方面旅行に端を発していたものが、以後関東方面(鳥取―大阪―江ノ島―鎌倉―東京―日光―鳥取)や九州旅行5泊6日が行われていましたが、交通事情が悪化ということで、昭和41年3月の九州一周旅行が最後となり中止となりました。そしてそのかわりに

昭和41年7月18日から3日間2年生の「校外学習旅行」が京都比叡山で行われました。昼間は、自然探訪、文化史蹟巡り、夜は文化講演会(第1夜は比叡山大僧正葉上老師、第2夜は京都大学小倉親雄(柏葉4回生)教授)を聞きましたが、日程に無理があるという反省があり次の年昭和42年から大山鏡ヶ成での高原教育となったようです。

『最初の年の昭和42年は、準備期間の関係もあって2年生550名全員をキャンプ生活させるためのテントの調達ができず、150名の希望者だけ野外生活をさせ、残りの生徒は国民宿舎の方に宿泊させた。又、当時の鏡ヶ成周辺は、国民休暇村指定直後で、まだ道路が整備されておらず、人跡まばらな山地を地図を頼りに、高地に登っては見通しをつけて前進するという苦難な状態にあった。昭和45年には生徒全体のテントができ、キャンプ生活をするようになった。』
(創立五十周年記念誌)



1クラス43～44人が5～6人に分かれて夫々がテントを張り、自炊のキャンプ生活をする――事前に山岳部の生徒が中庭でテント張りの指導をし、各班のテントをもらって大山へ行く――。

高原のしおりには、高原教育の目的から始まって、日程表(詳細なもの)・生活関係諸注意・装備表(個人と各班)。野営場施設配置

図・テント設営位置・テント設備および撤収の要領・登山の諸注意・登山日程(大山コース、烏ヶ山コース、大山滝コース)登山要領・地図・キャンプファイヤー日程および担当・食事献立(例)・班編成テント番号・登山コース氏名表などなど。

第1日 8時30分 バス10台で学校出発 蒜山で昼食、13時鏡ヶ成集結、13時20分 開校式
テント設営 身辺整理 夕食準備

地面にパネルを敷いてテントを張るのが一苦労。炊事は薪を使ったことのないものが多く、炊きつけの枝などを先に燃やしてしまって、あとでどうしよう困った困った・・・など。指導の若い先生も、紙や小枝を燃やしてしまって、あとはおまえらでやれー？など。男子の中で考えて準備をしてきた班はバーベキューのいい匂いをさせていたり、女子の班はソーメンにチェリーなどだけで、そんなものを食べていては登山ができないのではないか、と思われたりー職員も生徒の班に食費を出しておいたので一緒に食べさせてもらいました。トイレには蚊がわんわんいる、そして昔流の上から落とすと打って返えしが来る式なので、よう使いません！という生徒は鏡ヶ成の国民宿舎の方まで連れていきました。

21時30分消灯。職員はそれから4人ぐらいで1時間ずつ手分けして1時30分まで巡視。何とか寝させようとしてしました。

第2日 5時30分起床。朝食準備、後片付け、6時登山弁当配布、7時20分ごろより各登山隊出発。昼食は、現地で取って、大山隊は16時帰着。烏ヶ山は大体13時30分、大山滝は14時帰着。夕食準備、食事、後片付、自由時間。19時キャンプファイヤー 21時終了。

キャンプファイヤー(各自トーチ家から作って持参)19時25分開会宣言「遠き山に日は落ちて」トーチ入場。点火のことば。点火「燃えろよ燃えろ」営火長挨拶。

19時40分 フォークダンス
20時30分 トーチサービス
20時36分 採火
20時37分 分火
20時50分 学年長挨拶「校歌」
20時55分 閉会宣言

夏の感激は、東高祭でシンボルを燃やして踊った時に勝るとも劣らぬものでした。

22時 消灯 就寝。

職員は、興奮し盛り上がった生徒を寝させるのに2時まで予定を組んで巡視しました。皆うまく寝てくれたかな？

第3日

6時 起床、朝食準備、後片付
8時30分 ルーム別行動
10時 昼食準備、後片付
11時10分 テント撤収、清掃
12時30分 閉校式
13時10分 出発
16時 鳥取帰着

大体以上のような日程で毎年高原教育が行わ

れこれも東高生活における友情、心の交流、互いの固い結びつきークラス、学年一の団結などの出発をうながすものの一つであると思われていました。

しかし事前準備、当日の山道の整備、危険箇所の手当て、キャンプの指導・・・問題点・困難点が多くありましたが何とか平成4年まではこの行事が続けられました。

平成4年より高原教育は、冬季高原教育として雪の氷ノ山で1月29日～31日行われることとなりました。

当時の卒業生の東高生活における修学旅行や、高原教育の思い出は、現在は冬季高原教育の思い出に変わっているようです。

ホームページで交流を 「京阪神東雲の窓」

同窓生の交流を目的に、ホームページを作成しています。Urlは次の通りです。

<http://www.asahi-net.or.jp/~hf3s-okd/higashi/index.htm>

今までの会報のバックナンバーの紹介や、過去の総会画像・故郷の情報も充実してきました。会報の感想や同窓会情報など、会員の皆さんの気楽な情報交換の場としてご利用下さい。

運営者 岡田(MAIL toshi-o@momo.so-net.ne.jp)

●編集後記●

◆第8号でも「近況報告」を中心に紙面の構成を行いました。1行の背後に今までの人生が感じさせられる文言がうかがえます。できれば、本誌へまとまった文として掲載を頂きたいと思います。高校時代のことやその後の生き方の中で感じられてこと実践されたことなどぜひお寄せください。◆同窓会館の完成と共に本部事務局も常駐され各地と同窓会関係の連絡体制も取られるようになりました。資料も充実してきましたので帰省のときには母校訪問に折に会館に立ち寄られては如何でしょうか。本部から東雲会会報「しのめ」の創刊号が本年6月23日に出されました。◆8月6日には母校本部の総会が白兔会館で開会され、京阪神支部からは山脈22回の当番幹事増田さん達が出席し、本年度の総会企画など報告をしました。◆個人情報保護条例が施行されました。本部の名簿発行の方針が定まるまで毎年支部でも発行していました支部名簿は、今年は見合わせます。◆題字は上田先輩(柏11回)、カットは山崎氏(山12回)によります。《お》